

# 食品・農産物の表示の信頼性確保と機能性解析のための 基盤技術の開発（継続）

【340（340）百万円】

## 対策のポイント

科学的根拠に基づいた、信頼性の高い食品の品種・産地判別技術と機能性解析技術を開発します。

（ニュートリゲノミクスとは）

ニュートリション（栄養）とゲノミクス（遺伝子の網羅的解析技術）の造語で、食品成分の摂取に伴って起こる遺伝子の発現量の変動を網羅的に解析する手法です。食品成分を摂取した時に起こる生体内の変動を遺伝子レベルで調べることが可能です。

## 政策目標

国産農林水産物の信頼の確保と食事バランスによる健康増進

## <内容>

### 1. 食品表示の信頼性を確保するための評価・管理技術の開発

食品の信頼性を確保するため、原産地、生産履歴情報、品種・系統等の高度偽装防止技術を開発し、さらに国際標準化を踏まえつつ、妥当性が確認された分析方法を確立します。

### 2. 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

ニュートリゲノミクス（栄養成分応答性遺伝子解析技術）等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術を開発します。

## <実施主体等>

実施主体 民間団体等

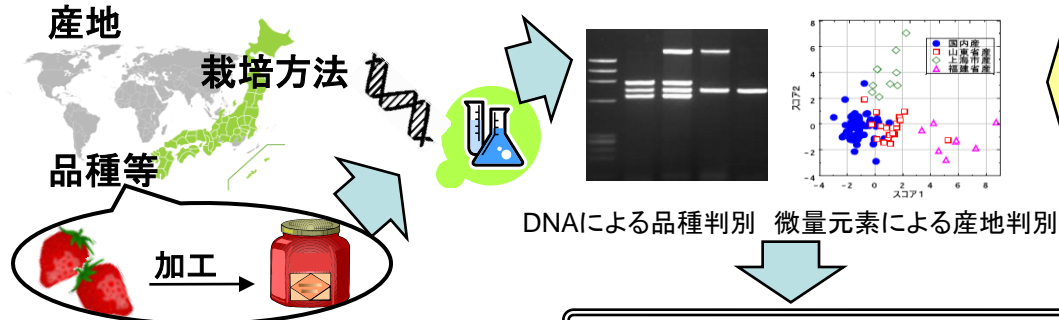
実施期間 平成18年度～平成22年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（食の安全、基礎・基盤）（03-3502-7430（直））]

# 食品・農産物の表示の信頼性確保と機能性解析のための基盤技術の開発

## (1) 食品表示の信頼性を確保するための評価・管理技術の開発

原産地、生産履歴情報、品種・系統等の高度偽装防止技術の開発と国際標準化に対応した妥当性が確認された分析方法の確立

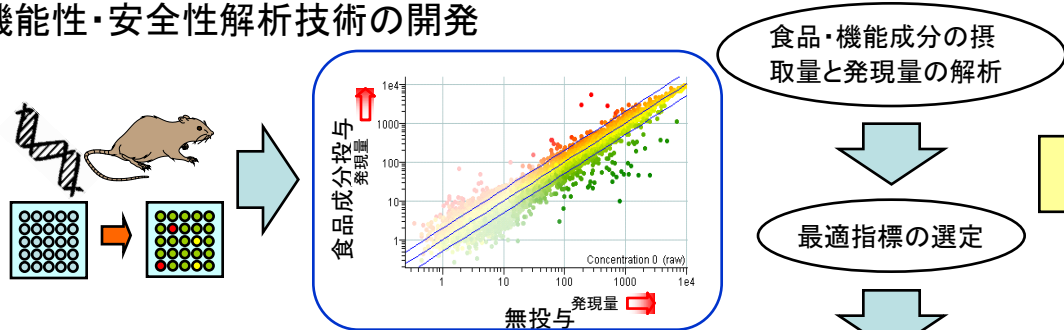


生鮮品だけでなく加工度の高いジャム等を対象にした品種判別

科学的根拠に基づく信頼性の高い判別技術の開発

## (2) 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

ニュートリゲノミクス等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術の開発



科学的根拠に基づく信頼性の高い機能性解析技術の開発

食品表示・健全な食生活に対する関心の高まり

- 消費者は、信頼でき、おいしくて、健康に良い食品・農産物を求めている。

消費者に対する食品表示の信頼を回復するとともに、健全な食生活を実現するための食品および農産物が求められている。

## 期待されるアウトカム

- 品種・原産地判別技術による食品の信頼性確保と種苗の知財保護。
- 科学的根拠に基づく正しい食品機能の情報提供。

偽装表示の抑止

消費者が安心して食品を購入

食事バランスによる健康の維持増進

- 独自技術による国産農水産物の安心と優位性確保による需要促進。